

<第10期 秋葉区自治協議会 部会編成名簿>

第1部会

NO	氏 名	区分	備考
1	小菅 忠行	地域コミュニティ協議会	
2	加納 百合子	地域コミュニティ協議会	
3	村上 勝行	地域コミュニティ協議会	
4	甲田 寛子	公共的団体等	
5	杉田 耕一	公共的団体等	
6	渡邊 彩	区長が必要と認めた者	
7	高橋 俊一	区長が必要と認めた者	
8	小見 健雄	区長が必要と認めた者	
9	轡田 勝俊	区長が必要と認めた者	
10	保科 雅人	区長が必要と認めた者	

第2部会

NO	氏 名	区分	備考
1	山口 律子	地域コミュニティ協議会	
2	菅井 育生	地域コミュニティ協議会	
3	馬場 三千代	地域コミュニティ協議会	
4	高橋 伸	地域コミュニティ協議会	
5	長谷川 隆	地域コミュニティ協議会	
6	青木 貞義	地域コミュニティ協議会	
7	若月 要	公共的団体等	
8	神田 朋美	公共的団体等	
9	稲垣 謙一	公共的団体等	
10	平田 洋子	区長が必要と認めた者	

第3部会

NO	氏 名	区分	備考
1	今井 康弘	地域コミュニティ協議会	
2	板井 真紀	地域コミュニティ協議会	
3	佐々木 美佳子	公共的団体等	
4	丸山 正壽	公共的団体等	
5	荒井 武雄	公共的団体等	
6	中島 純	区長が必要と認めた者	
7	山崎 美絵	区長が必要と認めた者	
8	田中 美央	区長が必要と認めた者	
9	土田 敏	区長が必要と認めた者	
10	原 知恵子	区長が必要と認めた者	

広報部会

NO	部会	氏 名	区分	備考
1	1			
2	1			
3	2			
4	2			
5	3			
6	3			

<横断的>秋葉区未来ビジョン部会

NO	部会	氏 名	区分	備考
1	2	山口 律子	地域コミュニティ協議会	
2	1	小菅 忠行	地域コミュニティ協議会	
3	1	加納 百合子	地域コミュニティ協議会	
4	2	菅井 育生	地域コミュニティ協議会	
5	2	馬場 三千代	地域コミュニティ協議会	
6	2	高橋 伸	地域コミュニティ協議会	
7	2	長谷川 隆	地域コミュニティ協議会	
8	3	今井 康弘	地域コミュニティ協議会	
9	2	青木 貞義	地域コミュニティ協議会	
10	1	村上 勝行	地域コミュニティ協議会	
11	3	板井 真紀	地域コミュニティ協議会	
12	2	若月 要	公共的団体	
13	1	渡邊 彩	区長が必要と認めた者	
14	1	高橋 俊一	区長が必要と認めた者	
15	2	平田 洋子	区長が必要と認めた者	
16	1	小見 健雄	区長が必要と認めた者	

<横断的>こども真ん中プロジェクト部会

NO	部会	氏 名	区分	備考
1	1	小菅 忠行	地域コミュニティ協議会	
2	1	加納 百合子	地域コミュニティ協議会	
3	2	菅井 育生	地域コミュニティ協議会	
4	3	今井 康弘	地域コミュニティ協議会	
5	2	青木 貞義	地域コミュニティ協議会	
6	3	板井 真紀	地域コミュニティ協議会	
7	3	佐々木 美佳子	公共的団体	
8	3	荒井 武雄	公共的団体	
9	2	神田 朋美	公共的団体	
10	3	中島 純	区長が必要と認めた者	
11	3	山崎 美絵	区長が必要と認めた者	
12	3	田中 美央	区長が必要と認めた者	
13	3	土田 敏	区長が必要と認めた者	
14	3	原 知恵子	区長が必要と認めた者	
15	1	小見 健雄	区長が必要と認めた者	

令和7年度 秋葉区自治協議会提案事業

担当部会	第1部会
事業名	① きらめきサポートプロジェクト ② 地域活性化事業【若者塾】
目的・趣旨	① このプロジェクトでは、「きらめく秋葉区」に向けて様々な地域課題の解決を目的とし取り組んでいく。具体的には、地域に根ざした事業やアイデアを持つ個人や団体を広く募集し、それらの取り組みを支援することで地域の持続可能な発展を促進する。 また、自治協議会がかけはしとなることで市民と行政、市民と他団体との協力関係を強化しながら事業の深化を図る。これにより、地域の課題に対する共同の解決策を生み出す基盤を提供する。 ② 地域の課題解決のために、地域で活躍できる人材の育成に取り組めます。区内の学生、若者が同世代とネットワークを構築し、地域で活動を実現することができる人材を育成することで区民主導の自立的な地域コミュニティの形成に寄与することを目的とする。
事業概要	① 事業の募集と支援 地域の課題解決に資する事業を広く募集。選定された事業には、秋葉区自治協議会と協働のもとで実施するための委託料を支払う。事前の打ち合わせの段階から自治協委員が1名以上参加して、協働で実施する。 ② 人材育成とネットワーク構築 まちづくりの担い手となる次世代を対象とし、地域課題の発見、課題の解決策を見つけるためのワークショップを開催する。現役の大学生や地域で活躍するプレイヤーをファシリテーターとして招き、同世代間での新たなネットワークを構築する。通常きらサポと別枠で扱うこととし、第1部会で実施する。
事業費	1,600,000 円(通常きらサポ 1,500,000 円、人材育成 100,000 円)
その他	

担当部会	第2部会
事業名	①交通(公共交通の調査・研究／公共交通利用促進) ②防災(防災講演会／避難所運営訓練)
目的・趣旨	①交通 秋葉区の公共交通に関する課題を調査し、解決策を検討することを目的とする。また、区内の公共交通利用を促進するため、効果的な情報提供を行う。 ②防災 防災講演会や避難所運営訓練を通じて、区民の防災意識を高め、災害時の人的被害の軽減を図る。
事業概要	①交通 秋葉区の公共交通に関する課題の把握や解決策の検討、他地区の先進事例の研究を行う。さらに、区バスの利用促進を目的として、時刻表などの情報を掲載したガイドブックを作成・配布し、広報活動を展開する。 ②防災 防災講演会や避難所運営訓練を開催し、区民が災害時の行動を習得できるよう支援し、必要に応じて避難所運営マニュアルの見直しや改善を促す。
事業費	500,000円
その他	

担当部会	第3部会
事業名	Akiha おとな大学
目的・趣旨	秋葉区の特色や史跡・旧跡、魅力ある歴史を学んでもらうことで地域への愛着や興味関心をさらに高めるとともに、学びを次世代に引き継ぐ、未来につながる主体的な学びの機会とする。
事業概要	<主な事業> 秋葉区魅力や特色を伝える講座をジャンル分けして開催。 【食部門】 ・もち麦や八珍柿 【文化・花と緑部門】 1年目に事業企画検討、2年目に事業実施 ・講演会やトレッキング
事業費	370,000円
その他	

担当部会	広報部会
事業名	コミュニティ FM を活用した自治協議会 PR 事業
目的・趣旨	秋葉区ならではの取り組みとして、コミュニティ FM を活用し、秋葉区自治協議会の活動やかわら版「あきはくはつものがたり」の PR を行う。
事業概要	・毎月第2水曜日正午放送の 30 分コーナー「あきはくはつものがたり」に、自治協議会委員が出演 ・自治協議会提案事業などの各部会 PR スポット CM の放送 ・かわら版「あきはくはつものがたり」を活用した PR
概算事業費	800,000円
その他	アキハスムポロシャツを着用し、自治協議会として新津松坂流しに参加 秋葉区 HP を活用し、自治協議会の活動内容を PR

担当部会	特別部会
事業名	秋葉区未来ビジョン
目的・趣旨	令和 5 年度、各コミュニティ協議会で策定した未来ビジョンの実現に向けて、持続可能な取り組みとアイデアを支援し、地域全体の資源を最大限に活用して、より良い未来を創造する。
事業概要	令和 5 年度に、コミュニティ未来ビジョンで策定したアクションプランを募集し、その実現に向けて協働する。 簡単な要件を設定した上で、各コミ協のアクションプランに位置付けられていれば委員による審査は不要とする。委託が決定した事業については、事業実施のための委託料を支払う。事業については、事前の打ち合わせの段階から自治協委員が 1 名以上参加して、協働で実施する。 各コミュニティ協議会ごとの取り組み状況を共有する場を持ち、各地域コミュニティ間の連携強化を図ることでコミュニティ協議会の相互発展に貢献する。
事業費	2,200,000円
その他	

担当部会	特別部会
事業名	こども真ん中プロジェクト
目的・趣旨	こどもが秋葉区に愛着を持ち、親が子育てを楽しめる環境をつくるため、こどもを中心に据えたイベントを開催する。この事業を通じて、地域全体で「こども真ん中の秋葉区」を実践し、持続的な支援体制を整える。
事業概要	自治協議会と区内の子育て支援団体が連携し、こどもの成長と幸福を最優先に考えた様々なイベントを定期的に開催する。これにより、地域全体で子育てを支援する風土を育み、こどもたちが地域に対して愛着を持つことを促進する。また、親が安心して子育てを楽しめる環境づくりを推進し、秋葉区全体で安定的なイベント実施を目指す。
事業費	660,000円
その他	